

博物圖教授法

甲卷



明治十一年三月出版

柴田勝良編輯

植物之部 合二冊
動物之部

博物圖教授法

京都書肆

文求堂藏样

博物圖教授法甲

柴田勝良編輯

甲
乙
丙

博物圖教授法甲

博物圖

第

博物圖教授法甲

甲
乙
丙

凡植物ハ通常根幹ヨリ枝葉ヲ生シ花ヲ開キ實ヲ結ブ其種類最多シト雖モ之ヲ四部ニ大別ス其一ヲ外長部ト名ク新質外ニ生スルヲ梅柳等ニ於ルガ如キヲ云其二ヲ内長部ト名ク新質内ニ生ルヲ櫻蘭百合等ニ於ルカ如キヲ云フ其三ヲ上長部ト名ク新質節ヲ逐テ生スルヲ木賊シタ等ニ於ル如キヲ云フ其四ヲ通長部ト名ク全休新質同生長スルヲ海藻等ニ於ルカ如キヲ云フ此四類ヲ點算スレバ外長部ノ植物最多種ニシテ内長部ハ其三分之一過ズ上長通長ノ二部ハ僅ニ十分ノニ三ナルノニ

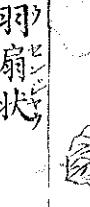
今ヤ爰ニ專ラ外長内長二部ノ花葉根幹ニ就テ其形状并ニ名稱ヲ畧記シテ示ス

植物ノ花葉ハ猶動物ノ肺胃ト生殖諸器トノ如シ則花瓣心鬚ヲ具テ外ニ艶態ヲ頭シ内ニ芳香ヲ吐ク其形状百般ニシテ分属ノ致ナリト雖モコレヲ概論スレバ皆生產蕃息ノ資テ始ル外ナリ

葉ハ組織皆聚抱体ヨリ成リ通常綠色ヲ異フ其紋理疎密一ナラズ面背共ニ無數ノ孔竅アリテ呼吸ノ機關ヲ具フ其面ナルハ蒸發孔ニシテ自然ノ妙用ト太陽ノ熱トニ因リテ清氣ヲ吐出し其背ナルハ吸收孔ニシテ炭酸氣ヲ吸收シテ全体ノ養物ヲ資ル此二孔啻ニ呼吸ヲ主トルノミナラズ亦能ク資養ノ液ヲ釀シ以テ花實ヲ生熟カシム

根ハ直根横根或ハ圓塊等アリテ多クハ地中ニ入りテ光線ニ觸ル、テ忌ム氣管液管ノ兩機アリテ其功用ニ端ニ分ル一ハ樹ノ幹ヲ維持シ一ハ土中ヨリ養液ヲ吸收シテ葉底ニ傳ヘ多量ノ養氣ヲ洩シ又下降シテ總身ノ新質ヲ生育スルヲ主ル

幹ハ根上地ヲ出タル植物ノ本幹ニシテ木ニ幹ト云ヒ草ニ莖ト云アコレ分枝生葉開花結實等ノ因テ起ル久ナリ以上四部各其功用ヲ異ニス然レニ其本來ノ生質ヲ論スレハ動物ト甚ダ異ナルヲナシ其形状等ニ至リテハ各名稱一ナラス今其著シキモノ若干ヲ舉テ植物入門ノ階梯トナス

																													
鋸葉 <small>キヨエ</small>	鉗鋸齒 <small>ドロキヨウシ</small>	全邊 <small>ゼンペン</small>	葉端之形 <small>エンドノヒメイ</small>	羽扇狀 <small>ヒセンジョウ</small>	對生葉 <small>ダイセイエ</small>	對生葉トハ葉 <small>ダイセイエトハエ</small>	對生葉ノ對生葉 <small>ダイセイエノダイセイエ</small>																						
而シテ其形ノ如何ニヨリテ各其種類ヲ區別シ名稱 <small>カタナシテヒコトノオノクニヨリテカツクシテカタノシテ</small>	全邊ノ形トハ草木ノ葉ノ緣ノ如何ヲ示スナリ	三出葉トハ前條ニ似タレ	金盤ノ葉是 <small>キンバンノエタリ</small>	羽扇狀ハ多序 <small>ヒセンジョウハダシウ</small>	三尖葉 <small>サンセンエ</small>	互生葉 <small>ゴセイエ</small>	互生葉トハ對生葉ノ																						
山毛櫟ノ葉ノ如シ	平タク滑カニシテキテ之ノ葉ノ如シ	トモ扁平三ツ三別ル、ニ	似タリ即チ八角	三集葉 <small>サンシユウエ</small>	三尖葉トハ前條ノ如	梅葉 <small>メイエ</small>	梅葉トハ對生葉ノ																						
榆ノ木ノ葉ノ如シ	鉗鋸齒ハ鋸ノ齒ノ如ク切レタルモノヲ云仮令ハ	非斯少シ對ヒ合フ者ヲ	金盤ノ葉是 <small>キンバンノエタリ</small>	重二出葉 <small>キヂュウニヒツエ</small>	三尖葉トハ前條ノ如	楓葉 <small>カエデエ</small>	楓葉トハ對生葉ノ																						
重鋸齒 <small>キョウギョウエ</small>	鉗鋸齒トハ曲線形ニシテ其緣鋸齒ノ如ク切レタルモノヲ云仮令ハ	云即首宿ノ葉是 <small>ウタマリノエタリ</small>	重三出葉トハ全葉	重複葉 <small>キヅクエ</small>	三尖葉トハ前條ノ如	梅葉先尖タルヲ云	梅葉トハ對生葉ノ																						
尚重テ細刺スルモノ	鉗鋸齒ハ前條ノ如ク切レタル者ヲ云仮令ハ	歯牙 <small>シガ</small>	欽刺トハ折線狀	重複葉スルモノニシテ	三集葉トハ全葉	梅葉先尖タルヲ云	梅葉トハ對生葉ノ																						
是ナリ	地榆 <small>ジキウ</small>	緣齒 <small>エヌガ</small>	ナレ全葉ノ緣切レ	欽刺トハ折線狀	三集葉トハ全葉	梅葉先尖タルヲ云	梅葉トハ對生葉ノ																						
ヲ云仮令ハ櫻ノ葉	尚重テ細刺スルモノ	耳 <small>アミ</small>	ナレ全葉ノ緣切レ	欽刺トハ折線狀	三集葉トハ全葉	梅葉先尖タルヲ云	梅葉トハ對生葉ノ																						

葉尖之形

名稱ヲ施シ各其種類ヲ分ツコト摘要邊ノ部ニ
葉尖ノ形トハ全葉ノ末銳鋸ノ尖リヲ區別シテ
類ス

銳尖頭

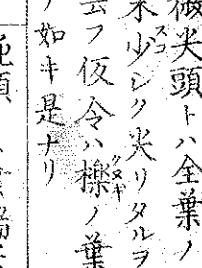
銳尖頭ハ全葉ノ末銳鋸ノ尖リヲ區別シテ
類斯



銳尖頭トハ葉端尖
云フ仮令ハ酸模ノ葉
ノ如半是ナリ

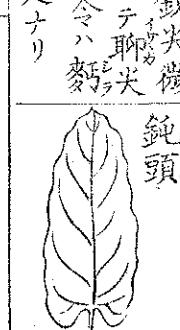
微尖頭

微尖頭トハ全葉ノ末少シク尖リタルヲ
云フ仮令ハ酸模ノ葉
ノ如半是ナリ



頭

頭トハ葉端尖リタルヲ
云フ仮令ハ酸模ノ葉
ノ如半是ナリ



頭トハ葉端尖
云フ仮令ハ酸模ノ葉
ノ如半是ナリ

銳頭

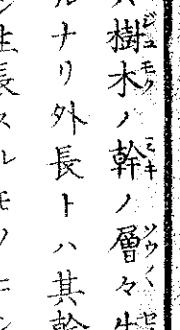
銳頭ハ葉末中へ
灌ミタルヲ云仮
令ハ酸模甲花ノ
構ノ如キ是ナリ



銳頭ナルハ銳尖微
尖ノ中央ニシテ耶尖
リタルヲ云仮令ハ酸
模ノ葉
ノ如半是ナリ

凹頭

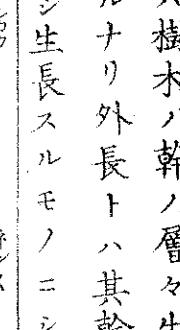
凹頭ハ葉末中へ
灌ミタルヲ云仮
令ハ酸模甲花ノ
構ノ如キ是ナリ



凹頭ナルハ葉末中へ
灌ミタルヲ云仮
令ハ酸模甲花ノ
構ノ如キ是ナリ

内長外長

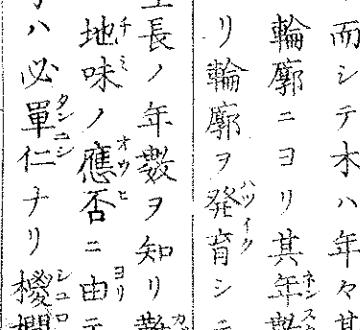
内長外長トハ樹木ノ幹ノ層々生長ナス外ノ模
様ヲ區別スルナリ外長トハ其幹ノ外面ヨリ層々
輪廓ヲ育シ生長スルモノニシテ其實必ス双



内長外長トハ樹木ノ幹ノ層々生長ナス外ノ模
様ヲ區別スルナリ外長トハ其幹ノ外面ヨリ層々
輪廓ヲ育シ生長スルモノニシテ其實必ス双

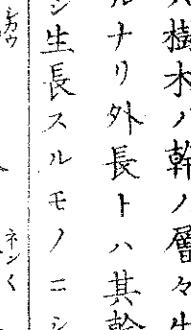
ノ區別

仁ナリ梅桃ノ類是ナリ而シテ木ハ年々其一輪ヲ増故ニ
木ノ切口ニアル木理ノ輪廓ニヨリ其年數ヲ算シ得ベシ
又内長トハ幹ノ中心ヨリ輪廓ヲ發育シテ層々増益ス故
ニ木口ノ木理ヲ見テ生長ノ年數ヲ知リ難シト雖モ幹ノ
高低及ビ其木ノ質或ハ地味ノ應否ニ由テ年數ヲ概知ス
ルヲアルヘシ且其種子ハ必單仁ナリ機櫻等即是ナリ

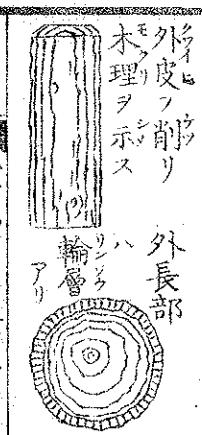


仁ナリ梅桃ノ類是ナリ而シテ木ハ年々其一輪ヲ増故ニ
木ノ切口ニアル木理ノ輪廓ニヨリ其年數ヲ算シ得ベシ
又内長トハ幹ノ中心ヨリ輪廓ヲ發育シテ層々増益ス故
ニ木口ノ木理ヲ見テ生長ノ年數ヲ知リ難シト雖モ幹ノ
高低及ビ其木ノ質或ハ地味ノ應否ニ由テ年數ヲ概知ス
ルヲアルヘシ且其種子ハ必單仁ナリ機櫻等即是ナリ

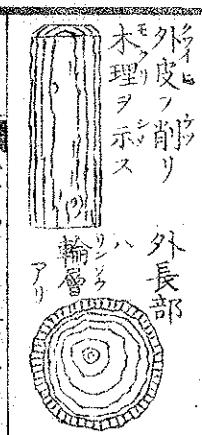
内外二部



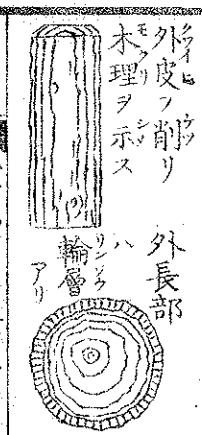
内外二部ノ區別



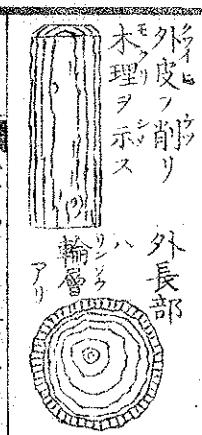
内外二部ノ區別



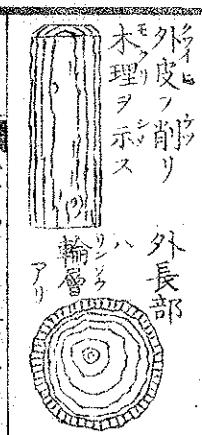
内外二部ノ區別



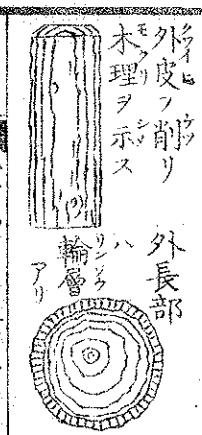
内外二部ノ區別



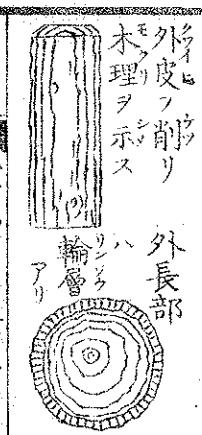
内外二部ノ區別



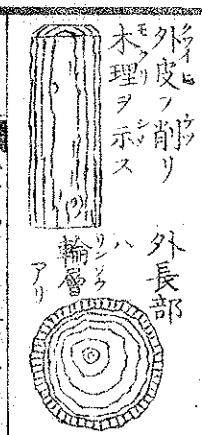
内外二部ノ區別



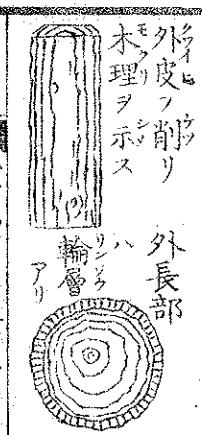
内外二部ノ區別



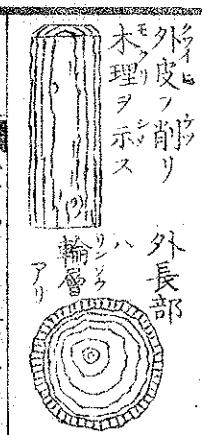
内外二部ノ區別



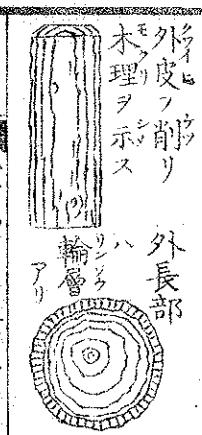
内外二部ノ區別



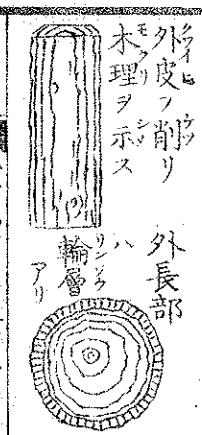
内外二部ノ區別



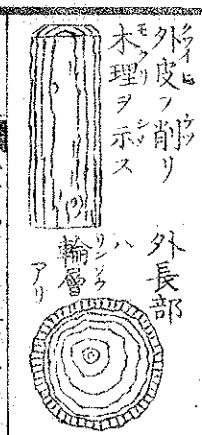
内外二部ノ區別



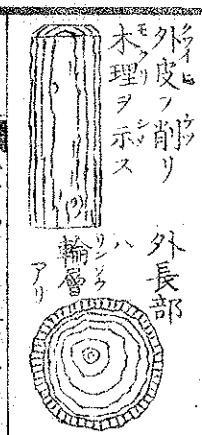
内外二部ノ區別



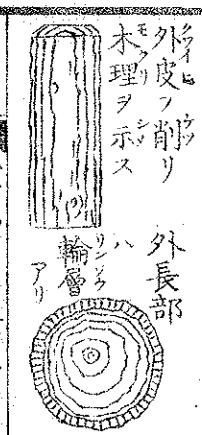
内外二部ノ區別



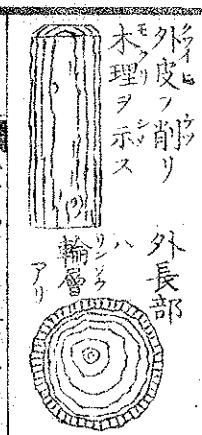
内外二部ノ區別



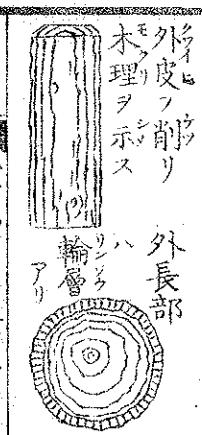
内外二部ノ區別



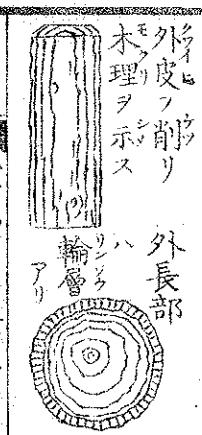
内外二部ノ區別



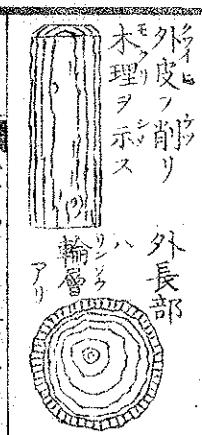
内外二部ノ區別



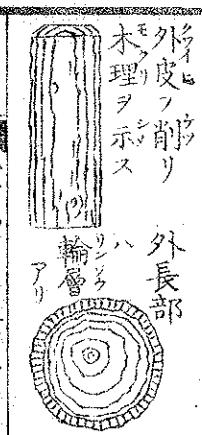
内外二部ノ區別



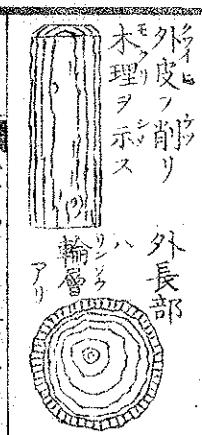
内外二部ノ區別



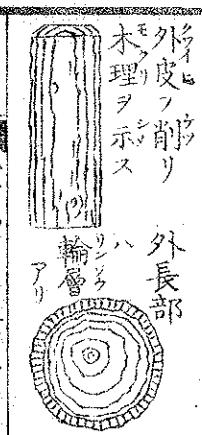
内外二部ノ區別



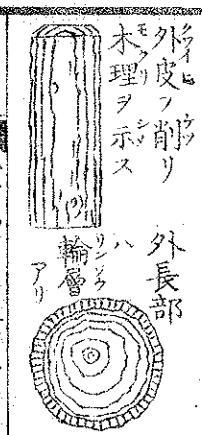
内外二部ノ區別



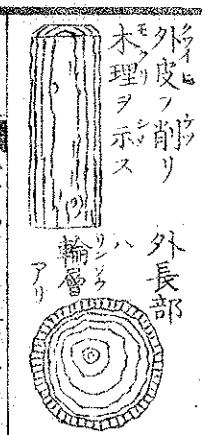
内外二部ノ區別



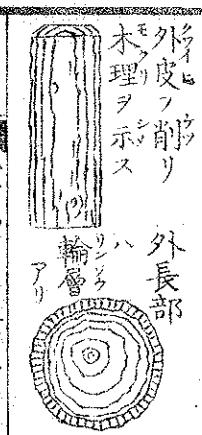
内外二部ノ區別



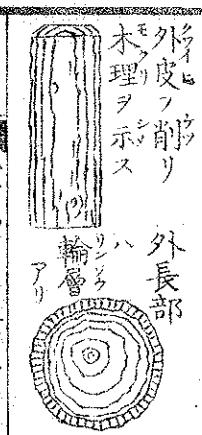
内外二部ノ區別



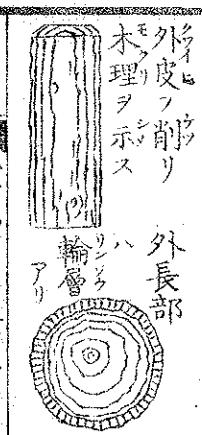
内外二部ノ區別



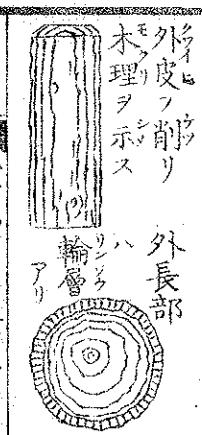
内外二部ノ區別



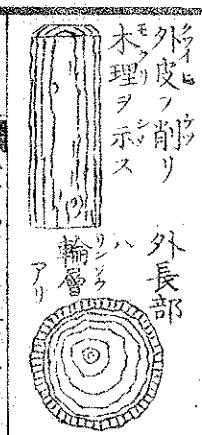
内外二部ノ區別



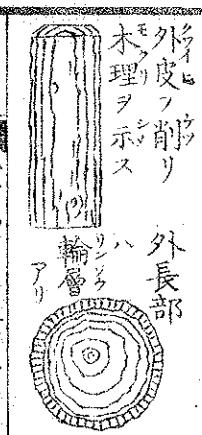
内外二部ノ區別



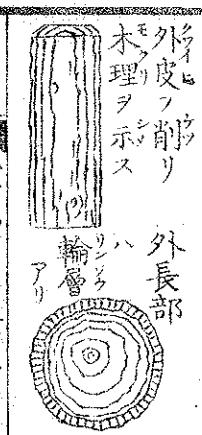
内外二部ノ區別



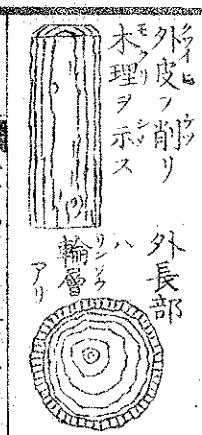
内外二部ノ區別



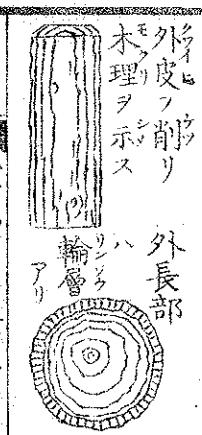
内外二部ノ區別



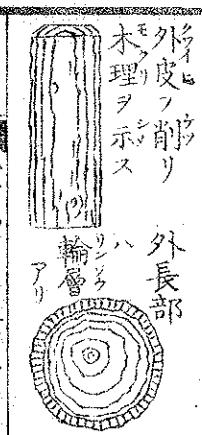
内外二部ノ區別



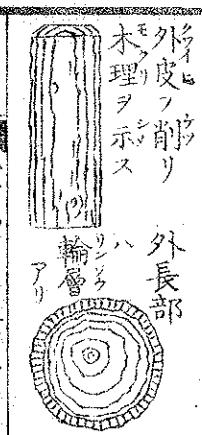
内外二部ノ區別



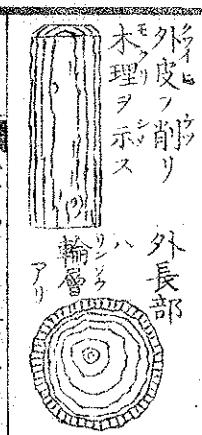
内外二部ノ區別



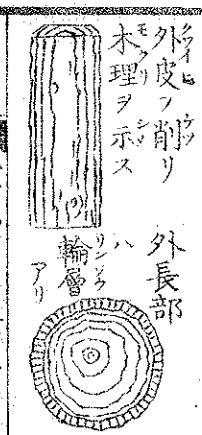
内外二部ノ區別



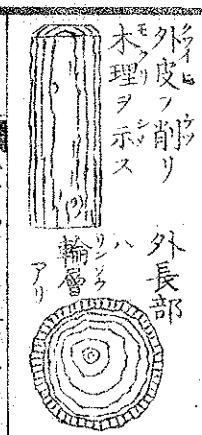
内外二部ノ區別



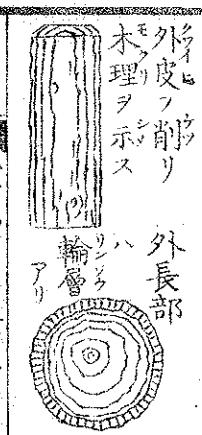
内外二部ノ區別



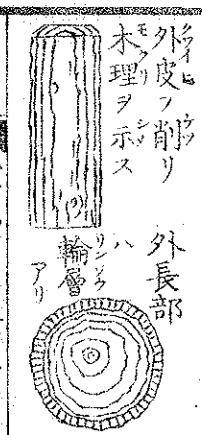
内外二部ノ區別



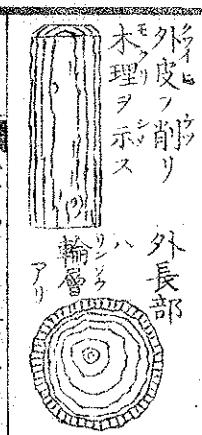
内外二部ノ區別



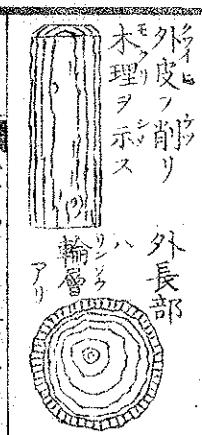
内外二部ノ區別



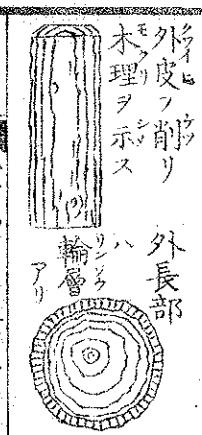
内外二部ノ區別



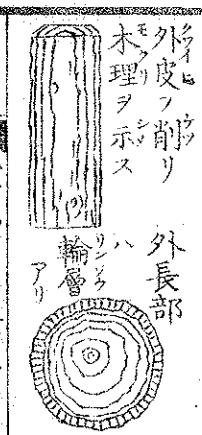
内外二部ノ區別



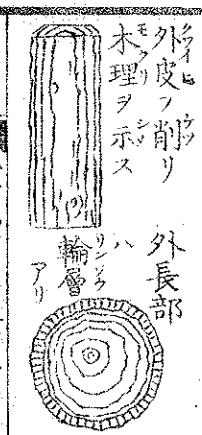
内外二部ノ區別



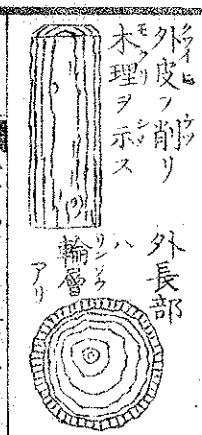
内外二部ノ區別



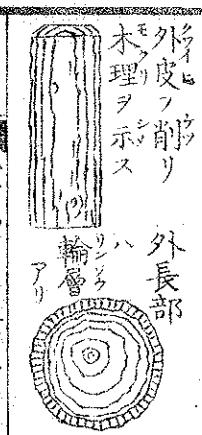
内外二部ノ區別



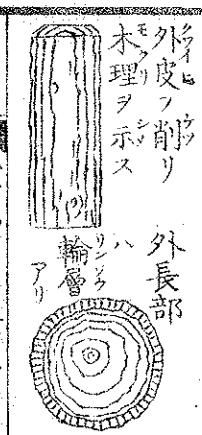
内外二部ノ區別



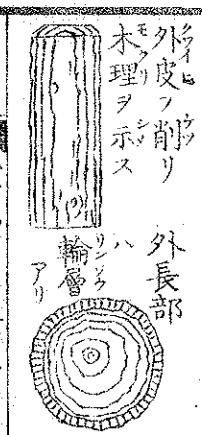
内外二部ノ區別



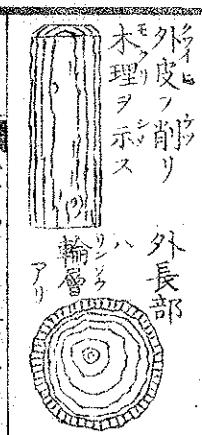
内外二部ノ區別



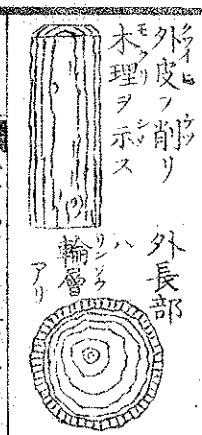
内外二部ノ區別



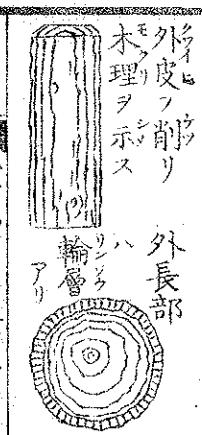
内外二部ノ區別



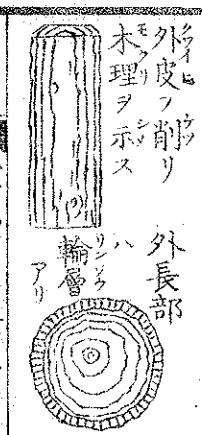
内外二部ノ區別



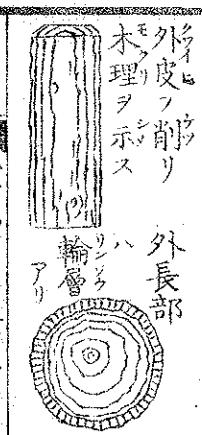
内外二部ノ區別



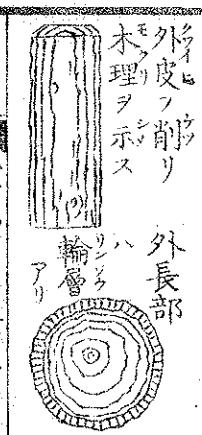
内外二部ノ區別



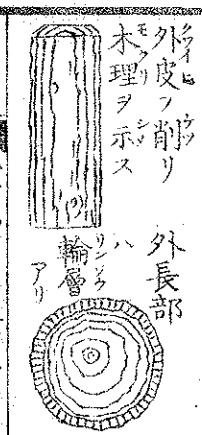
内外二部ノ區別



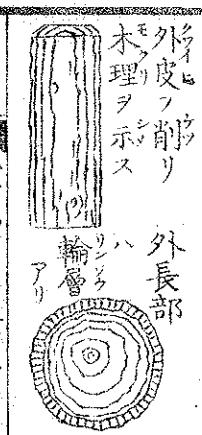
内外二部ノ區別



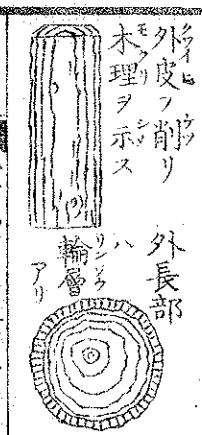
内外二部ノ區別



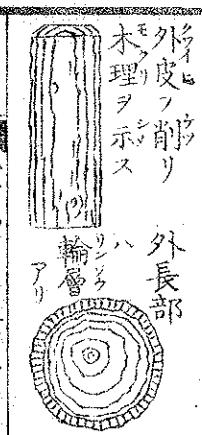
内外二部ノ區別



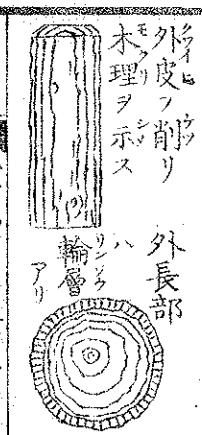
内外二部ノ區別



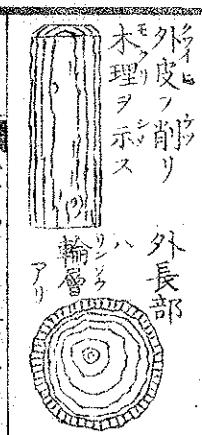
内外二部ノ區別



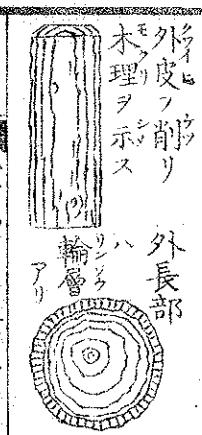
内外二部ノ區別



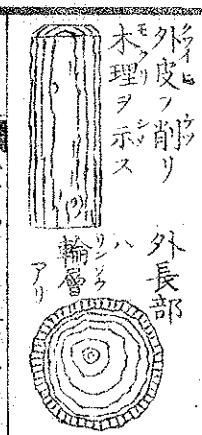
内外二部ノ區別



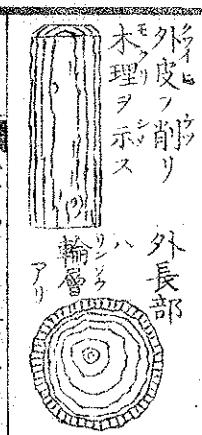
内外二部ノ區別



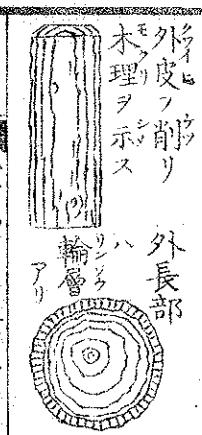
内外二部ノ區別



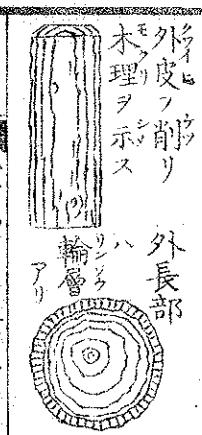
内外二部ノ區別



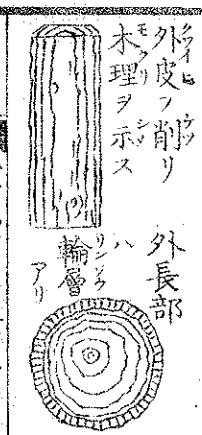
内外二部ノ區別



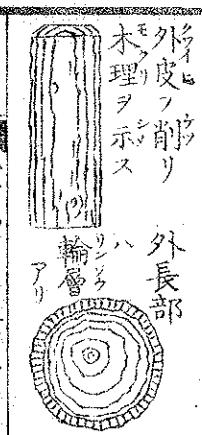
内外二部ノ區別



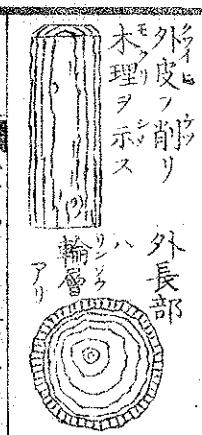
内外二部ノ區別



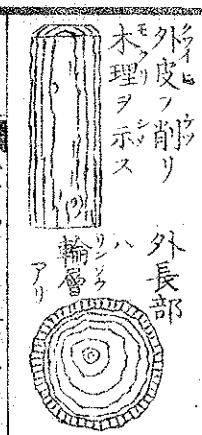
内外二部ノ區別



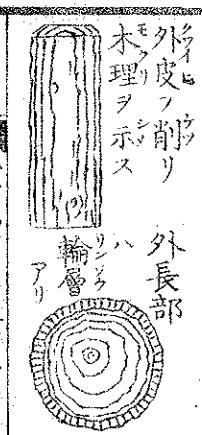
内外二部ノ區別



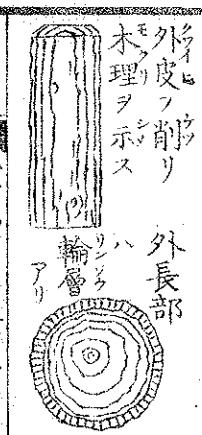
内外二部ノ區別



内外二部ノ區別



内外二部ノ區別



根塊之部

博物圖復覽

凡植物ノ根塊タルハ其根ノ如何ニヨリテ一定ノ則アリ又其種ニヨリテ名目ヲ定ム其解尤ノ如シ



如キ是ナリ



百合ノ類是ナリ



如キ是彼ニ蔓蔓リ



如キ是ナリ



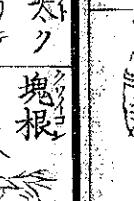
如キ是ナリ



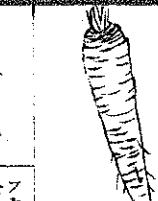
如キ是ナリ



如キ是ナリ



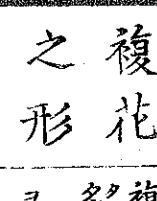
如キ是ナリ



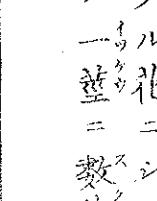
如キ是ナリ



如キ是ナリ



如キ是ナリ



如キ是ナリ



如キ是ナリ



如キ是ナリ



如キ是ナリ



如キ是ナリ



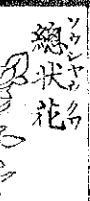
如キ是ナリ



如キ是ナリ

複花之形

ヲ云ヘリ



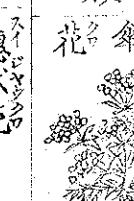
總状花トハ其花ノ複



形チ集合連續ミテ



總ノ如キ者ヲ云フ復



多ノ花ヲ開キ又ハ一莖ニ數花連續シテ咲モノ



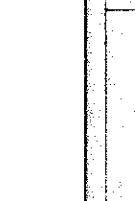
即胡蘿蔔等是ナリ



如キ即胡蘿蔔等是ナリ



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



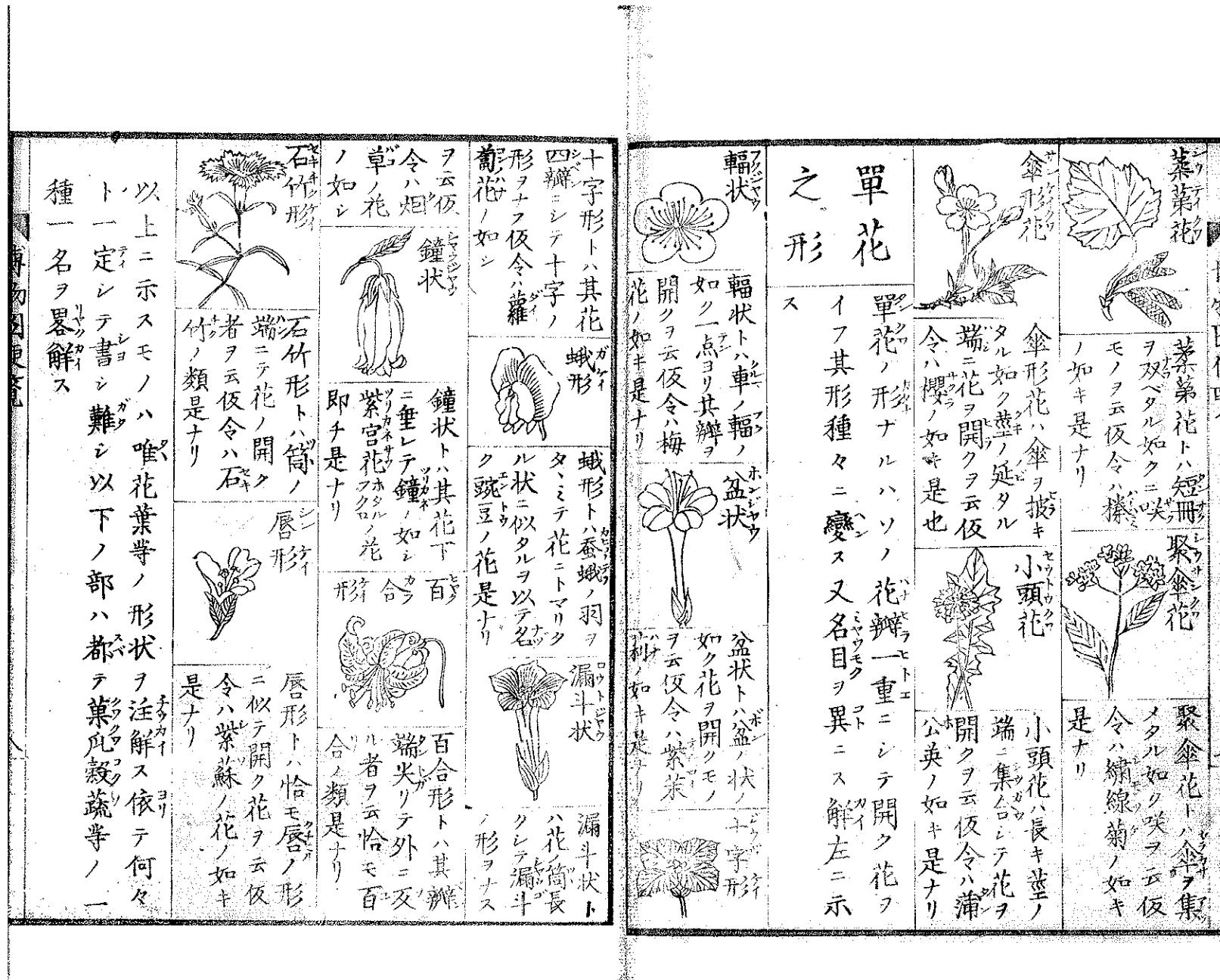
形チ傘房花ノ如クナル



傘房花トハ其花ノ複



形チ傘房花ノ如クナル



第二 博物圖

果實ハ其味或ハ甘ク或ハ酸シ共ニ天然ノ美味ヲ具ヘテ
多クハ之ヲ生食シ暑熱ノ渴ヲ醫レ人身ニ滋養ノ効アリ
殊ニ柑類ハ腐敗スルヲ遲シテ年ヲ越ユベク蜜柿梅杏
葡萄ノ如キハ乾カシテ久ニ貯フベク棗栗胡桃榧柯子銀
杏如キハ貯フルニ勞ナクシテ能ク久キヲ保ツベシ又
梅ヲ塩醃シテ白梅トナストキハ數年ヲ經ルトイヘドモ
其色變ズルコトナシ諸果皆糖藏スベシトイヘドモ其最
良ナルハ拘擇ヲ以テ第一トス

藏果ハ一年生ノ草木茹子ヲ除クノニ結ブ所ノ果ニシテ甜
外皆蔓艸ナリニ結ブ所ノ果ニシテ甜

角西瓜胡瓜ノ如キハ之ヲ生食シ其他ハ熟食シ又塩藏ス
ベシ熟ハ煮食シ又乾シテ久シキニ貯フベシ是所謂熟蓄ナリ

蒲蘆ハ素ヨリ食用品ニアラズ唯乾カシテ器物ニ用フル

ノミ絲瓜ハ其嫩ナルハ食スベシ成長スレハ食スベカラ
ズ之ヲ水ニ浸シテ皮肉ヲ腐爛セシメ後淨水ニテ洗ヒ去
レハ網状ノ絲ヲ殘ス此品海綿ノ用ニ代ヘ其他用キル所
多シ

今茲ニ尋常有用ノ品類ヲ舉グ異國產ノ品ニ至リナハ別
ニ示スベシ

明治六年第十月

文部省

果實

凡果實タルハ都テ木ニ結ブ實ヲ云フ是ヲ人食
フニハ生食シ又熟食スルノ區別アリ其大畧ヲ
左ニ示ス

之部



梅

梅ハ其種類極メテ多シ花ハ淡深ノ紅アリ又白花アリ形
ニ單瓣重瓣アリ二月ノ候花咲ラ通常ノ梅トス其實
ノ大ニシテ食用トナルヘキハ單瓣ニシテ白花ナリ實ハ
塩醃ニシテ食用ス味ヒ最モ酸シ是ヲ霜梅又白梅ト称

桃ノ種類又多シ故ニ大畧ヲ舉ル花ハ紅
白斑アリ白花深紅等アリ通常實ヲ結
フ者ハ所謂桃花色ナリ六月頃實ノ熟スル

ハ夏桃ト云味ヒ美ナフス秋ノ初ニ熟スルヲ
トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

ス久シク貯ヘテ腐敗セス
蓋梅ノ種類
三百餘アリ



桃ノ種類又多シ故ニ大畧ヲ舉ル花ハ紅
白斑アリ白花深紅等アリ通常實ヲ結
フ者ハ所謂桃花色ナリ六月頃實ノ熟スル

杏ハ春花ヲ開クト桃ト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモ

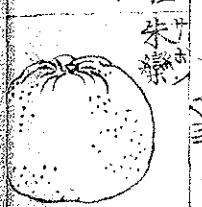
佳トス實ノ美味ナル
八花美ナラス花ノ美
麗ナルモノハ實ノ味ヒ
惡シク食フヘカラズ
ヒ甘ク少シク酸ヲ
帶上根ヲレ



朱櫻又香橙トモ云フ大ナ恰モ柑ニ等シ
児ノ頭ニ似タルアリ至大ナルハ徑七十餘
生食又ハ乾レテ時フ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

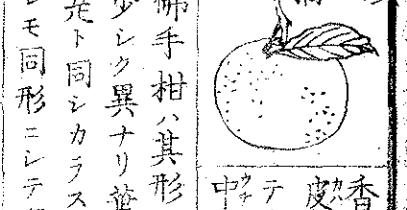
ルハ久シク貯
フヲ得ベ
ク其味ヒ至
テ酸シ



香橘又香橙トモ云フ大ナ恰モ柑ニ等シ
皮厚クシテ他ノ柑類ニ異ナリ苦味ナク却
少シク異ナリ葉ハ木犀ノ如クニシテ鋸齒ナシ又枸橘ハ

是ト同シカラス其形ナシ圓クシテ砂糖漬トナス葉ハ何
レモ同形ニシテ實ノ色黃ナリ皮ヲ剥ゲハ白色ニシテ切
柚ハ各地ニ産ス大サ香橙ニ等シク脆ハ粗慥ニ
シテ始メハ青ク熟スルニ從ヒ卵色トル味ヒ酸
キ烈シ故ニ香橙蜜柑ノ如ク食ス可ラズ然
レドモ其酸ヲ察リ魚鱠等ニ用フンハ又佳ナリ

佛手柑ハ其形ナシタハラグニシテ稱スルモノ、如ク其頭ハ
佛手相



朱櫻又香橙トモ云フ大ナ恰モ柑ニ等シ
児ノ頭ニ似タルアリ至大ナルハ徑七十餘
生食又ハ乾レテ時フ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

大根ヲト
切タルニ
等レ



佛手柑ハ其形ナシタハラグニシテ稱スルモノ、如ク其頭ハ
佛手相

朱櫻又香橙トモ云フ大ナ恰モ柑ニ等シ
児ノ頭ニ似タルアリ至大ナルハ徑七十餘
生食又ハ乾レテ時フ



朱櫻又香橙トモ云フ大ナ恰モ柑ニ等シ
児ノ頭ニ似タルアリ至大ナルハ徑七十餘
生食又ハ乾レテ時フ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

吸口ニ用ユ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

大根ヲト
切タルニ
等レ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

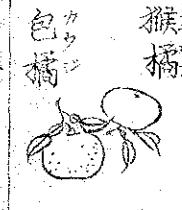
花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

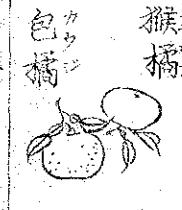
花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

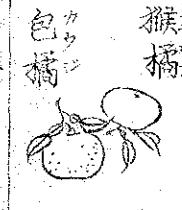
花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

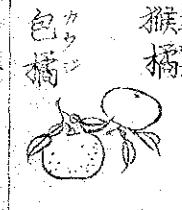
花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

花及皮ハ香
氣共ニ快キヲ
以テ羹汁等ノ
吸口ニ用ユ



トカリスモト同候ニシテ梅ト同候ニ

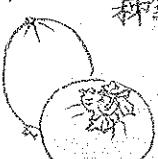
</div

博雅圖書

アリテ味ヒ清ク少シ舌ヲ刺

卷之三

株ハ其品類甚夥
シ允三百種モアリ



且多シ又 振圆ナルアリ長金橋
ト云フ又 金東表トモ書ス

卷之三

テ
シテ
ナ
レル
アリ



又道云テサルアリ一 種結所 植ト云アリ上品ト不
大和御所ヨリ出ス故三名クス 蜂谷 植ハ美濃ヨリ
出ス濃アルヲ以テ皮ヲ剥キ乾カシテ食ス味ヒ美
ナリ又白櫛ト云モノアリ甲州ノ名産トス

群集シテ結フ形金柑ノ如ク黃色ニシテ微毛アリ實ノ肉薄ク核中必ス双核稀ニ八單核ノ者モアリ葉ハ冬ヲ經テ落ナズ木ノ充又瓊地ヲ好ニテザレハ實ヲ結ハス分生長スルニ非能ク繁茂ス

搾持ハ日本東北ノ地ニ産シテ西南ノ地六見ルト稀ナリ木形林檎ニ似テ枝多ク節ニ瘤アリ春新葉ヲ生ス其状モ林檎ニ似テ廣ク白



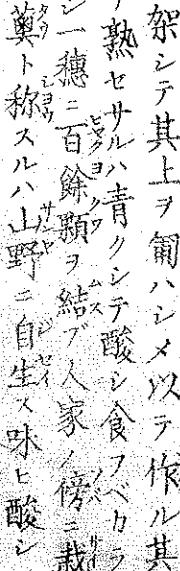
分生長タルニ非
ザハ實ヲ結ハス
又瓊地ヲ好ミテ
能ク繁茂ス

毛アリテ互生ス花ハ五瓣ニシテ淡紅色或ハ白色ナリ其實ハ榎檻ニ似テ圓シ其色微綠ニ黄ヲ帶ヒタリ味ヒ酸ク淡シ且香氣アリ



枝條繁茂シ花ノ形チ小ニシテ
梅花ノゴトシ色ハ白クシテ
葦^{アシ}ト葉ハ櫻ノ如ク皺紋アリ
葉ニ似タリアハイチゴハ其蜜
ノ如キ故ニ名ク朱ヒ可レモ

蛇
ヘビ
ヘビト云フアリ 遇テ食フベカラズ



葡萄ハ甲州ヲ名産トス棚ニ架シテ其上ヲ匍匐ハシメ以テ作ル其
實一穗ニ羣付ス味ヒ美ナリ熟セサルハ青クシテ酸シ食フヘカラ
ズ熟シタルハ紫黒色ニシテ甘シ一穗ニ百餘顆ヲ結ブ人家ノ傍ニ栽
培シテ益アル果樹ナリ又蘡薁ト云々ト称スルハ山野ニ野生ス味ヒ酸シ

肉ヲ以テ核ヲ包ム人其
軟肉ヲ食ニ葉ハ細長
シ一種東洋形ノ實ヲ結フ
アリ「苗代グミ」ト云フ



野木瓜ハ「アケビ」ノ一種ニ
シテ五葉ノ木通ニ似タリ
之ヲ通常木通トス實ハ成
ノ形ニ似テ小シ甘味アリ

葉ハ五葉一列ニ横生ス
此種類冬ニ至リ葉ヲ萎
マス故ニトキニアベレント云



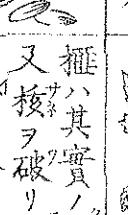
無花果ハ葉ノ形チ朝顏ニ
似テ大ナリ熱地ニ多ク產ス
故ニ印度地方ニ夥シ實ハ
蒂ノ方細ク頭開キ大ナリ

實ノ皮ハ暗黑色ニシテ
薄ク蒂厚シ其中ニ無數
ノ赤小粒ヲ含ム味ヒ甘シ
能熟スルハ自テ皮裂ス



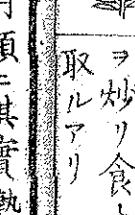
無花果ハ葉ノ形チ朝顏ニ
似テ大ナリ熱地ニ多ク產ス
故ニ印度地方ニ夥シ實ハ
熟ハ白ク半熟ハ赤シ熟

シテ紫色ト
ナル味ヒ甘
シ又桑椹ト



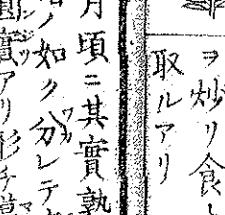
桑ハ葉ヲ以テ蚕ヲ養フ
實ハ雌木ニ枝テ結フ粒
々相寄リ東洋形ニシテ未
熟ハ白ク半熟ハ赤シ熟

枳椇ハ幹長大ナリ十一月頃ニ其實熟ス味ヒ烈
シキ甘ミアリ形チ手指ノ如ク分レテ肉其上ヲ
纏フ而シテ又アリ其上ニ圓實アリ形チ蔓形子ノ如
シ又ノ色ハ黒茶褐ニシテ核色ハ茶褐ニ光輝アリ



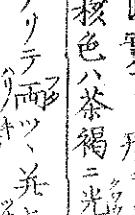
枳椇ハ其實ノ外皮ヲ去リ
又核ヲ破リ仁ヲ採テ之
ヲ炒リ食トス或ハ油フ

櫟ハ冬葉ヲ落ス小穗アリテ雨ツ、并ヒテ下垂ス



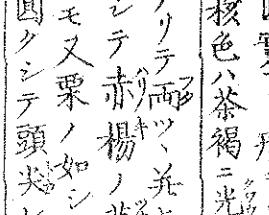
長サ一寸程色ハ淺褐ニシテ赤楊ノ葉ノ如シ實
ハ芝栗ヨリ大ナリ味ヒモ又栗ノ如シ其殼ノ中ニ
實アルコトモ少シ形チ圓クシテ頭尖レリ

銀杏ハ大木多シ脾木ニ非ザンバ實ヲ結バス殼ハ二ツ合セタルカ
如ク弧邊ヲナス輪ニ三弧邊ナルアリ俗ニ三ツ角銀杏ト云其葉
秋ニ至リ葉落ス實ハ軟肉ヲ以テ包ミ殼ヲ以テ仁ヲ護ス是ヲ食スル
ニ燒キ又ハ煮テ食ノ蓋シ實ヲ銀杏ト云樹ト一葉ト云



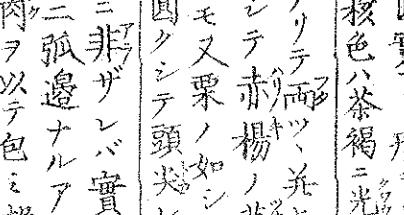
銀杏銀アン
銀杏

榛ハ冬葉ヲ落ス小穗アリテ雨ツ、并ヒテ下垂ス



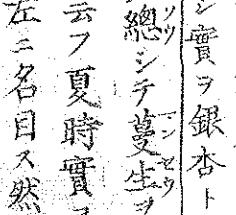
榛ハ其實ノ外皮ヲ去リ
又核ヲ破リ仁ヲ採テ之
ヲ炒リ食トス或ハ油フ

榛ハ冬葉ヲ落ス小穗アリテ雨ツ、并ヒテ下垂ス



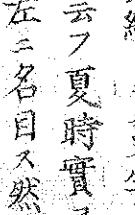
榛ハ其實ノ外皮ヲ去リ
又核ヲ破リ仁ヲ採テ之
ヲ炒リ食トス或ハ油フ

藏果ノ類ハ總シテ蔓生ヲ主トス然レバ桔子ノ一種シ
リ其類ヲ左ニ名目ス然レバ蒲蘆ハ食物ニ非ス



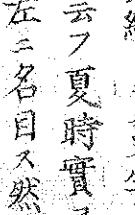
藏果藏クヤ
藏果ノ類ハ總シテ蔓生ヲ主トス然レバ桔子ノ一種シ
リ其類ヲ左ニ名目ス然レバ蒲蘆ハ食物ニ非ス

藏 果



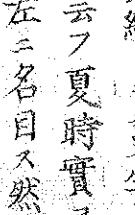
藏果藏クヤ
藏果ノ類ハ總シテ蔓生ヲ主トス然レバ桔子ノ一種シ
リ其類ヲ左ニ名目ス然レバ蒲蘆ハ食物ニ非ス

草木ト云フ夏時實ヲ結テ都テ人食ノ一種シ



草木草クヤ
草木ト云フ夏時實ヲ結テ都テ人食ノ一種シ

其類ヲ左ニ名目ス然レバ蒲蘆ハ食物ニ非ス



其類ヲ左ニ名目ス然レバ蒲蘆ハ食物ニ非ス



八
胡瓜ハ瓜類中ニ最早ク熟スモナリ緑色ニシテ
刺アリ形状煎海参ノ如シ熟シテ黄色ニ變ス故ニ
キウリト云フ未熟ノ中西ニシテ食フ又生食ス
形チ獨々長キアリ圓キアリ



麩ハ其花白シ實ハ長キアリ又短キモノアリ
是ヲ薄ク長ク剥ギテ乾タルヲ乾飄トイフ
煮テ食スルニ其味ヒ甘美ナリ我邦各地ニ產
スト雖モ越前ヨリ出ルモノヲ佳トス



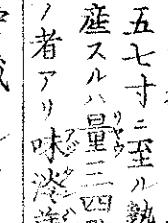
狐八其花白シ實ハ長キアリ又短キモノアリ
是ヲ薄ク長ク剥ギテ乾燥タルヲ乾瓢トイフ
煮テ食スルニ其味ヒ甘美ナリ我邦各地ニ產
スト雖モ越前ヨリ出ルモノ佳トス
西瓜ハ瓜類中ノ最タリ其大ナルハ直徑八九寸ニ達
ス砂地ニ生スルヲ佳トス外面ハ黒綠色ニシテ瓢赤ク
核ハ黒クシテ堅シ生食シテ味ヒ甘シ水分ヲ多ク含ム
夏日ノ渴メ醫スルニ妙ナリ
絲瓜ハ形チ細ク長シ未熟ノ中ハ人コレヲ食スレ氏
熟スル時ハ中ニ網状ノモノ有テ食フニ堪ヘス故ニ
肉ヲ腐爛セシメ其網状ノ者ヲ乾カシ藏メ物ヲ
洗ヒ汚レヲ去ルニ用フ尤水三入テ堅固ナリ

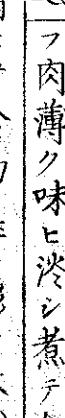


其生産スル地ニヨリテ形狀一様ナラス
アリ鬚アリ花ハ五瓣ニシテ黃色ナリ蒂下ニ實ヲ結ヒ
下垂ス實ニ疣贅アリ長サ三寸餘ナリ軟皮肉ニ核アリ
テ堅シ此核ニ粘着スル滑ナル肉ヲ食フニ甚ダ甘シ



番南瓜ハ其生産スル地ニヨリテ形狀一様ナラス
常ハ扁平ニシテ堅ニ禍アリテ區画ヲナスモノヲ南瓜ト云始メ深綠色ニシテ熟スレハ黃赤色トナル番南瓜ハ扁平ニ非ス蒂細ク末開キタリ何レモ煮テ食



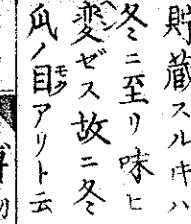
蒲蘆也		冬瓜也	
蒲蘆ハ食物ニ非ス形チ大小ノ數 ノ如クニニテ豎ニ長シ皮淡綠色 ニシテ白キ粉ヲ吹テ外面ヲ被 フ肉薄ク味ヒ淡シ煮テ食ス又			



ノ如クニシテ豎ニ長シ皮淡緑色
ニシテ白キ粉ヲ吹テ外面ヲ被
フ肉薄ク味ヒ淡シ煮テ食ス又
蒲蘆ハ食物ニ非ス形チ大小ノ數
種アリ凡越角ニ似テ中ヲ枯リタ
ル如クナリテ頭開キタリ熟シタ
ルヲ乾シ核ヲ去リ酒等ヲ盛ル置キ



冬瓜ハ又一カモウリトモ云西瓜
ノ如クニシテ堅ニ長シ皮淡綠色
ニシテ白キ粉ヲ吹テ外面ヲ被
フ肉薄ク味ヒ淡シ煮テ食ス又



博物圖

物トス一種千生
云アリ形チ指頭
程ノモノ數個一蔓
ニ連生ス

菜瓜ハ越瓜ノ如クニシテ全駄肥
タリ皮堅ク深緑色ニテ條紋アリ
多クハ塩漬或ハ酒ノ糟ニ漬テ食ス

葛車前葉山慈姑ハ澱粉ニ製シテ最モ美ナリ馬鈴薯ノ民ニ
益多キ甘諸ハ蕪歟ニ備フヘキ等皆人々ノ熟知スル所ニシ
テ余ガ論説ヲ俟ザルナリ

明治六年十月
文部省

穀物之部

穀物ノ用タルヤ人食ノ最第一ニシテ一日モ鉗ベカラザ
ルモノナリ其中ニ煮熟シテ食スルアリ又粉ニシテ
食スルアリ都テ熟レテ食スルヲ良トス



モツ
物ノ用タルヤ人食ノ最第一ニシテ一日モ鉄ベカラザ
セノナリ其中ニ煮熟シテ食スルアリ又粉ニシテ
スルアリ都テ熟レテ食スルヲ良トス

粳米ハ「ルシネ」ト云フ尋常炊キテ飯トスル如ノ米ナ
リ早ク登ルヲ早稻トイヒ晚シ登ルヲ晚稻ト云フ其
中央ナルヲ中粳ト云フ其粒ニ大小ノ形状一様ナ
ラス三種ヲ合セテ二百四五十種アリト云フ又一種



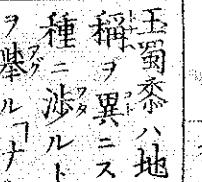
蜀黍ハモ
口コシト云
フ其高サ



蜀黍	ハモモ
口コシト云	ロコシト云
其高サ	フミタガサ
丈許	チヂミ
二	ニ
粟	ハムルアハシ
ハムルアハシ	ヨアヒト云アリ
比スレハ穂	ヒスレハスレ
短ク粒	クダツ
小ナリ	コナリ



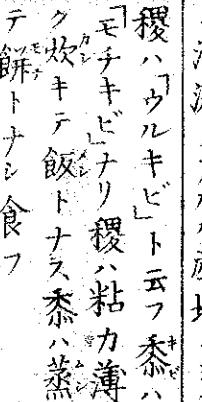
 <p>櫻 <small>さくら</small></p>	<p>栗 <small>くり</small> コアハト云アリ ノミニヒスレハ穂</p>	<p>蜀黍 <small>ハモモ</small> ロコシト云 一丈許 <small>イチジョウゴ</small> 其高サ</p>
---	---	--



八地方ニヨリテ
其ニス凡十七八
ルト雖モ一二種
ナシバシタウモ



糉ハ「ウルキビ」ト云フ
モチキビナリ 糉ハ粘力薄
ク炊キテ飯トナス 烹ハ蒸
テ餅トナシ食フ



四コシ 専ノヌ又カウテ止トキラ草形チ穆
同シ穂ハ皮ヲ數層被リ色ヲス一本ノ莖ニ整然



テ食ス一種赤キ種アルハ糯ナリ暖地ニ多ク産ス
大麥ハ苗大ニシテ其粒ヲ炊キテ飯トス小麥ハ苗小ニシテ穗モ亦
小サシ穗三四稜六稜ノ別アリ又苦アルアリナキアリ小麥ハ磨シテ
麪粉トナシ温飽索麵又八葉子麪白等ニ製ス又一種裸麥ト云ア
リ穀ヲ被ラス是モ炊キテ飯トナシ食フ



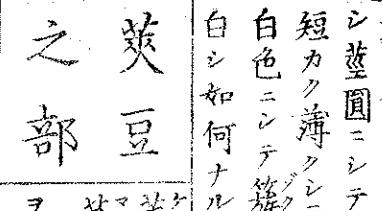
シテ其粒ヲ炊キテ飯トス 小麥ハ苗小ニシテ穗モ亦
後六稜ノ別アリ 又苦アルアリ 大キアリ 小麥ハ磨シテ
饅索麵又ハ菓子麪包等ニ製ス 又一種裸麥ト云ア
是モ炊キテ飯トナシ食フ

稗ハ水陸共ニ生ス水ニ産スルヲ稈子ト云ヒ旱地ニ
生スルヲ稗ト云フ總ハ粟ノ如クシテ小サク枝多シ葉
苦アルヲ毛ヒエト云フ穀物ノ下等ニシテ味ヒ美ナラ
ス然レ共麥穗等ノ生セサル地ニテモ能ク生ズルヲ以



ス水ニ産スルヲ穀子ト云ヒ旱地ニ
穂ハ粟ノ如クシテ小サク枝多シ紫
云フ穀物ノ下等ニシテ味ヒ美ナラ
リノ生セサル地ニテモ能ク生ズルヲ以
蒿麥ハ又黒麥トモ云フ通常形チ
三稜ナリ又一種角バト云フアリ
形チ四稜ナリ二種共ニ皮ヲ去リ
麌トナシ食ス其葉ノ形チ麌ノ如

テ僻地ニハ辨ヲ當
食トナス勿多レ又
小鳥爭テ餌フニ
ハ辨ヲ專ラトス



テ緑色ナリ葉ハ互生ス	レテ光滑ナリ秋花ヲ開ク
族生ス實ノ色黒ク仁ハ	ル瘡地ニテモ生育ス
莢豆ノ類ハ穀物ニ亞ギテ用ヲナス各同種ニシテ	莢豆トクマニサカ
蔓草アリ蔓草ナラザルアリ皆煮食ス其品類	蔓草アリ



大豆ハ黒豆ノヲナリ 大豆ト俗ニテ
シテ「クロマメ」ニ非ス 又 大豆ニ堆シテ
雄才小ナリ 何レモ煮或ハ炒
一種ハ蔓草ニアラス
黄大豆トハ色淡黄ニシテ白豆ト混
ス此類ハ味噌ヲ作ル豆ニシテ用ヒ
方至テタシ豆腐ヲ製シ又ハ煮
食之是モ蔓草ニアラス



大豆ハ黒豆ノヲナリ大豆ト俗ニ称スルハ綠大豆ニシテ「クロマメ」ニ非ス又大豆ニ雌雄アリ雌ハ大ニシテ雄ハ小ナリ何レモ煮或ハ炒テ食ス又大豆ノ一種ハ蔓草ニアラス
黄大豆トハ色淡黄ニシテ白豆ト混ス此類ハ味噌ヲ作ル豆ニシテ用ヒ
方至テ多シ豆腐ニ製シ又ハ煮食ス是モ蔓草ニアラス
赤小豆

之部

蔓草アリ 蔓草ナラザルアリ 皆煮食ス其品類
マニサカ
ノ分テ左ニ示ス



大豆ハ黒豆ノヲナリ 大豆ト俗ニテ
シテ「クロマメ」ニ非ス 又 大豆ニ堆シテ
雄才小ナリ 何レモ煮或ハ炒
一種ハ蔓草ニアラス
黄大豆トハ色淡黄ニシテ白豆ト混
ス此類ハ味噌ヲ作ル豆ニシテ用ヒ
方至テタシ豆腐ヲ製シ又ハ煮
食之是モ蔓草ニアラス



大豆ハ黒豆ノヲナリ大豆ト俗ニ称スルハ綠大豆ニシテ「クロマメ」ニ非ス又大豆ニ雌雄アリ雌ハ大ニシテ雄ハ小ナリ何レモ煮或ハ炒テ食ス又大豆ノ一種ハ蔓草ニアラス
黄大豆トハ色淡黄ニシテ白豆ト混ス此類ハ味噌ヲ作ル豆ニシテ用ヒ
方至テ多シ豆腐ニ製シ又ハ煮食ス是モ蔓草ニアラス
赤小豆

赤小豆ハ至テ種類多ク枚舉スルニ違アラズ其中ニ早晩ノ二種アリ早キヲ夏赤小豆ト云フ粒小ナリ秋熟スルヲ秋赤小豆ト云フ粒大ナリ色何レモ赤シ莢ノ長サ三四寸ナリ内ニ數十顆ヲ包ム又猪肝赤ト云アリ一名尾張アヅキトモ云フ又「ホコリカヅキ」ト

モ云フ粒小ニシテ微黒ヲ帶ブ又

ガングニマメト云ハ扁タクシテ大

ナリ皆煮食ス中ニモ蒸菓子

ノ餡或ハ羊羹等ニ用ユルタシ

リ又カキ豆「インゲンサ」也バクラ豆等ノ名目

アリ蔓草ニシテ甚長シ葉ハ葛ニ似テ小サク毛ナ

レ花ハ白紫アリ實ハ熟セザルヲ莢ノ内ニ煮食ス豆

ノ色黒褐又ハ茶褐ニシテ形チ扁圓ナリ

菜豆ハ蔓草ニシテ實ハ

熟セザルヲ莢共ニ煮食

ス豆ハ長楕圓形ニシテ

潔白ナリ味ヒ美ナリ

豆

鶴豆

ノヨリ称呼オナ

ジカラスアズ豆

ノ称東京ニア

鶴豆ハ其土地

ニヨリ称呼オナ



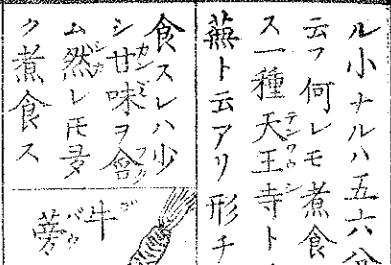
之根塊

刀豆ハ其葉跳豆ノ如ニメ大ナリ花モ同クシテ大ナリ其色紫
ニテ焚^ヒシテ長大紫ノ如シ故ニ名ク未熟ノ時焚^ヒシテ
食シ又塩漬トナス豆ノ熟シタルハ長サ八九分淡紅色ニ
光澤アリ一種花豆トモニ白キモノアリ白刀豆ト云
根塊ハ土中ニアリテ莢幹ヲ生ス其物ニヨリテハ
長キアリ短キアリ種々ノ異形ヲナス是ヲ食ス



十二
長 十方 標 榜

水蘿蔔
ハラコブリ
蘿蔔ハ產地ニヨリ大小形狀一樣ナラス尤小ナル
ハ尺ニ盈タズ四季共ニアリ野菜ノ中最モ緊要ナ
ルモノトス產地ノ有名ナルハ薩摩及ヒ尾張ヲ最
トス一種宮重蘿蔔ト云アリ至テ大ナルモノニシテ
至ナルハ通常一人二本ヲ一荷ニ
ス又一種水蘿蔔アリ鐵長ナリ乾
テ食フ都テ蘿蔔ハ生食煮食或
ハ鹽漬トシテ年中コヒコ食ス
蘿蔔
カブ
性質蘿蔔ニ類ス
形圓クシテ大ナル
ハ径リ五七寸ニ至



牛
第

シ又塩漬トナ
云アリ又近江
大ナリ



中庸
ウチキ



ノ疣

卷丹

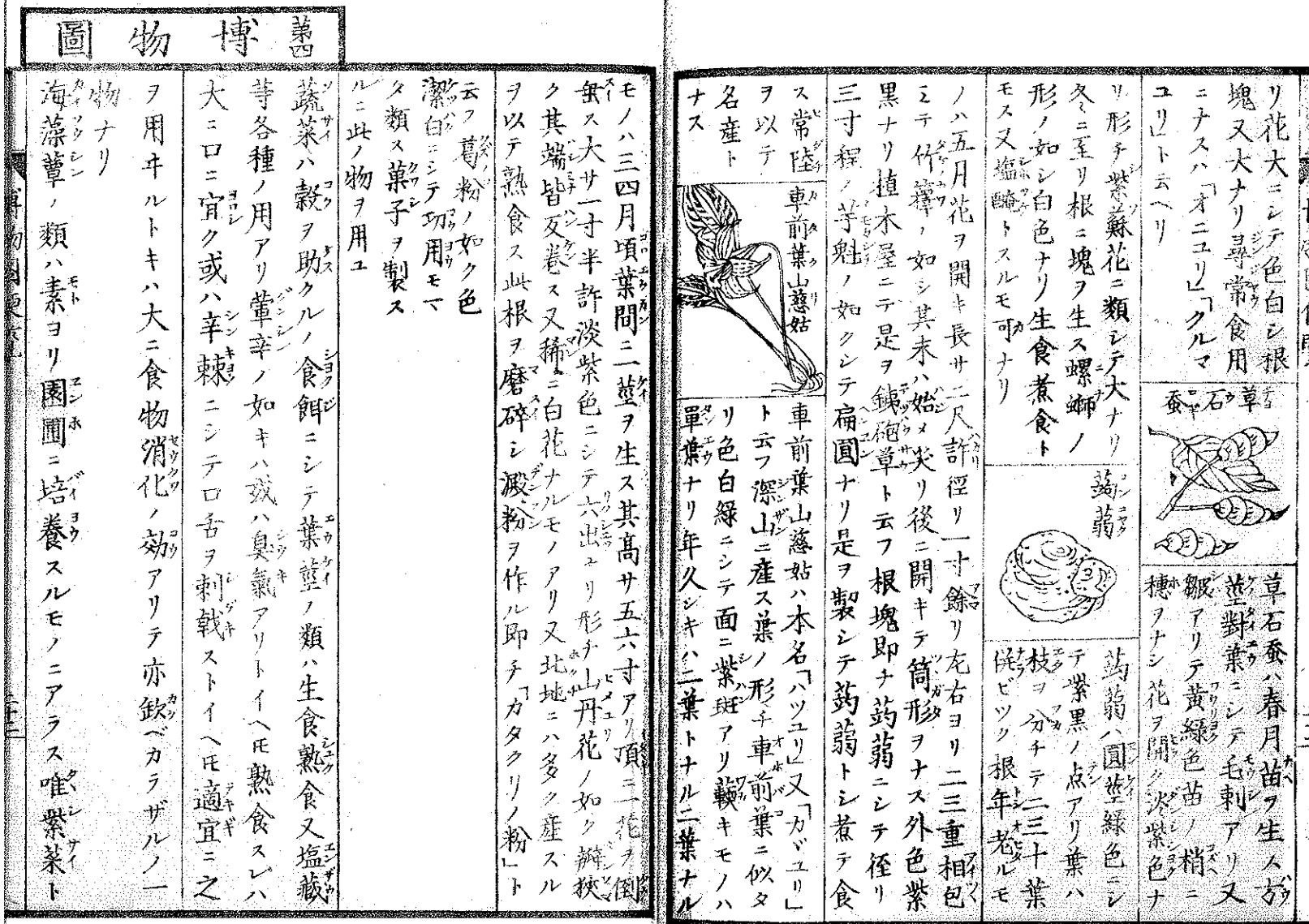


葛八山野共ニ多ク生ス甚タ蔓延スルモノナリ圓大ナルニ葉一蒂ニ生
ス扁豆ノ葉ニ似テ大ナリ蔓及ヒ葉共ニ褐色ナリ其根ヲ碎キ漬
粉トナス色至テ白シ沸湯ニ混ジ食シ又菜魚ヲ煮ニ混和シ或ハ
煮テ餅トナス大和吉野山ノ產極メテ美ナリ遠州掛川辺ノモノモ又
有名ナリ
其他諸國ニモ産
有名ナリ
甘諸花譜

互生ス花ハ鼓子花ニ似テ大ナリ根塊ヲ以テ食料トス煮又ハ蒸
テ食フ生ナルハ白色ニシテ蒸タルハ淡黃ナリ又馬鈴諸ハ恰モ薑
粉ノ如シ肥ヘ滑カナリ此品牛肉ト共ニ煮テ食スルニ波養ノ功
アリ鉢ベカラズ又甘諸馬鈴諸トモニ澱粉ニ製シテ佳ナリ

卷丹ハ品類極テ多ク三百餘種ニ至ル其根ノ食用ト
ナラサル者多シ葉ハ作葉ノ如クニシテ通常食用ニ
供フベキハ花朱槿色ニシテ黒点アリ甚大ナラ
ズ此種ア料理百合ト云フ一種吉野百合トイフア

ノモノニシテ家山藥ヨリ長ク細シ味ヒ却テ美ナリ又是ヨ磨碎シテ酢ヲ加ヘ食ス又乾シ粉トナシ沸水ニ混ジ砂糖ヲ加ヘ飲料トス	ノモノニシテ家山藥ヨリ長ク細シ味ヒ却テ美ナリ又是ヨ磨碎シテ酢ヲ加ヘ食ス又乾シ粉トナシ沸水ニ混ジ砂糖ヲ加ヘ飲料トス
徑ニ寸ニ及フ味ヒ菱ニ實ニ似タリ煮テ食フ皮ノ色鉛青色田ニ作ル色紫黑是モ煮食ス	徑ニ寸ニ及フ味ヒ菱ニ實ニ似タリ煮テ食フ皮ノ色鉛青色田ニ作ル色紫黑是モ煮食ス
又生食スルコト何レモ同様ナリ	又生食スルコト何レモ同様ナリ
青芋ハ子ヲ下シ作ル芋ノ類數十種アリ何レモ皆粘分多シ皆食用トナス外ノモノナリ莖青シ一根ニ數十個コ付ク暖國ニハ年々葉ヲ枯サズ九面芋ハ大ナリ其莖ヲ生スル外ハ元テ面ナス故ニ九面芋ノ名目アリ	青芋ハ子ヲ下シ作ル芋ノ類數十種アリ何レモ皆粘分多シ皆食用トナス外ノモノナリ莖青シ一根ニ數十個コ付ク暖國ニハ年々葉ヲ枯サズ九面芋ハ大ナリ其莖ヲ生スル外ハ元テ面ナス故ニ九面芋ノ名目アリ
土芋 シ草、タトシテ毛ヲ生ス形圓ク 扁シナルハ徑二三寸ニ及フ 少シ苦味アリ克ク煮テ食ス	土芋ハ又蔓生ニシテ皮膚黒シ草、タトシテ毛ヲ生ス形圓ク 扁シナルハ徑二三寸ニ及フ 少シ苦味アリ克ク煮テ食ス
佛掌諸 凸凹シテ定形ナシ其 食用トスルニ煮食シ	佛掌諸ハ形チ屈曲 凸凹シテ定形ナシ其 食用トスルニ煮食シ
慈姑 クシテナルハ 葉ノ形チ鑻形 クシテナルハ 葉ノ形チ鑻形	慈姑ハ水田ニ作 ル葉ノ形チ鑻形 クシテナルハ 葉ノ形チ鑻形
慈姑 クシテナルハ 葉ノ形チ鑻形 クシテナルハ 葉ノ形チ鑻形	慈姑 クシテナルハ 葉ノ形チ鑻形 クシテナルハ 葉ノ形チ鑻形



香草トハ人エヲ以テ蕃殖セシムルコトヲ得ヘシ

紫菜ノ芳香ナル昆布ノ甘味ナル石花菜ノトヨテシカニテシ

ヲ製シ又透明ナル紙ヲ製スル等効用多シ

松草ノ生鮮ナルハ其芳香甘美魚肉ノ厚味ニ劣ラサル香草ノ乾物トシテ香味生鮮ノモノニ勝ル等殊絶ナルモノナリ

明治六年第十月

文 部 省

葉 蓼

蔬菜ニオイテ葉莖ノ類ヲ人ノ食用トルモノ少ナカラヌ又生食煮食ノ區別アリ以テコレヲ龙ニ示ス

莖菜ハ長シタルハ三尺程ニモ及フ花葉色ニシテ甚美ナリ此實ヲ以テ油ヲ製ス其種子ヲカクシテ熟シタルハ暗紫色ナリ其軟クシテ葉ノ柔カク莖ノ出ザルウチハ摘ミテ煮食スベシ



莖菜

菘ハ葉最モ廣ク大ナリ葉面暗々白灰色ナリ此類ハ鹽漬ニシテ食スルモノニ故ニツケナレノ名目アリ武列三河島ノ產ヲ佳トス又唐人菜廣島菜ト云アリ共ニ美ニシテ又大ナリ莖毛至テ太シ

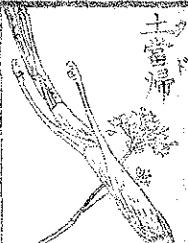


水菜

水菜ハ其葉齒形ヲナス又繡ノ平陽ナルモノアリ何モ一根ニ細莖葉ヲ生シ簇集ス煮食シ又鹽ニ漬ケ食フ是ヲ京撰ノ間ニテハ水菜ト称ス東京テハ京菜ト云フ是京師地方ノ產美ナル故ナリテハ京菜ト云フ是京師地方ノ產美ナル故ナリ生長ス又紫菜又「タウチサ」ト云フアリ是エ漸次生長ス又紫菜又「タウチサ」ト云フアリ是エ漸次生長ス又紫菜又「タウチサ」ト云フアリ是エ漸次



葉 蓼



十一

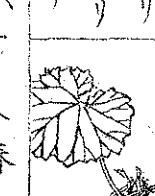
土當歸ハ香氣アリ春ニ至リ崩シテ作ル味ヒ美ナリ生食煮食共ニナス笄ハ少シ卷入細毛アリ肥ノ色白シ根三近キ如ト新芽ハ薄紅ナリ但シ食スルニ皮ヲ去ルベシ又天然生ノモノハ食用ニ供セス
筒蒿ハ數名アリ產地ニヨリテ同一ナラズ其初生ノ軟力ナルヰヲ摘ミテ食ス香氣アリ初メハ齒陳ノ葉ノ如クシチ毛ナシ秋ニ種ヲ下シ冬ニヨリ初春ニテ食フ春ノ末ニ至リ薹ヲ起ス葉互生ス四月頃



數
字

花ヲ開ク單瓣ニシテ菊花ノ
如シ故ニ「シンキク」ノ名アリ
花白ク葉茶ト花ノ本黃ナリ
又一種全ク黃ナルモノアリ

ニ細刺アリ葉ノ葉ニ似テ小ナリ冬春ノ中
食フ其花ヲ開ク歟數冬ノ莖ト云筍ノ如
ク皮ヲ以テ被フ中ニ小花群ス色白ク莖ノ如
竹ニ煮又ハ炙テ食フ香氣アリ味ヒ苦シ



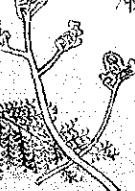


萬
世



卷之三

モニナスヘシ	花ヲ開ク花菊ニ似テ小サシ色淡黄ナリ其子ニ繁アリテ風ニ 隨ヒテ飛散ス其葉ヲ生食煮食共ニナス又一種化萬古ト云フ
ニツヒイツレモ生食煮食ト	ノ初メ最モ繁系クシテ千葉牡丹花ノ如シ葉互生ス冬ノ末春
花ヲ開ク形タ蒲公英ノ如シ	アリ一根ニ岐刻アリ根ニ葉互生ス夏ニ至リ葉間ニ
深藍色ニシテ朝ニ咲キ午時	ノ初メ最モ繁系クシテ千葉牡丹花ノ如シ葉互生ス冬ノ末春
波義	アリ根ニ葉互生ス夏ニ至リ葉間ニ
左右ニ各一尖アリ莖	アリ莖ニ
ニ小葉葉アリ莖ニ	アリ莖ニ



ク葉ハ三角ニシテ矢鐵ノ如シ莖ノ高サ
一二尺葉ハ互生ス色淡綠ナリ五月頃花
咲キ葉ノ花ノ如シ雄ナルハ寶ヲ結ハス雌
ハ寶ヲ生ス葉ハ生食煮食共ニナス

拳ノ如シ此ノ間ニ摘ミテ煮

食ス又軌カシタルアリ其長

スルハ長サ三四尺其葉ノ形チ

シダニ似テ莖モ又類似ス



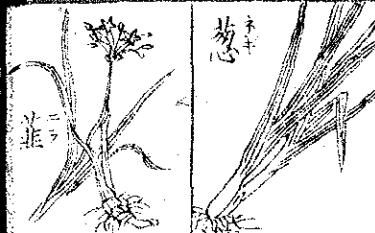
生ス深山ニ生スル者
ハ大ナリ形チ歳ニ似
タリ其軟力ヲ採リ

ニ引クシノ弯ト云フ其形チ筆ニ彷彿タリ
其頭ノ熟セザルハ龜甲形アリ其熟シタルハ綠青色ノ粉ヲ出ス其長セサルヲ煮テ食シヌハ矣リテ食フヘシ

葷 辛

別ハツト左ニ舉グ

葷 辛ナルモノハ味フニ臭氣ヲ含ムアリ又ハ口古ニ辛棘ヲオボヘルノ類各種異同アリ其區



葱ハ本名「ネブカ」ト云フ葉圓クシテ長ク中虛ナリ葉端尖リ色深綠ニシテ根元白シ生食煮食共ニナス臭氣極メテ烈シ花ハ葉端ニ集リ傘形ニ開ク白色ナリ甲列武列ノ產有名ナリ

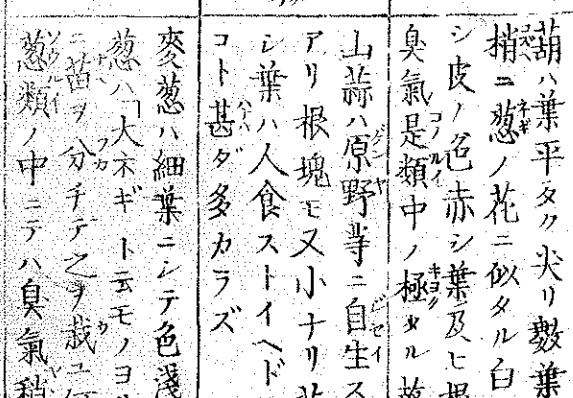


葫ハ葉平タク尖リ數葉互生ス夏月圓莖ヲ出シ
梢ニ葱ノ花ニ似タル白花簇生ス根塊圓ク長
シ皮ノ色赤シ葉及ヒ根塊共ニ煮食スト虽モ
臭氣是類中ノ極タル故多分食セズ

山蒜ハ原野等ニ自生ス葉ハ葱ニ似テ細シ微棱
アリ根塊又小ナリ花ハ龍ノ如クニシテ色淺
シ葉ハ人食ストイヘドモ臭氣多キ故ニ食スル
コト甚ダ多カラズ



麥葱ハ細葉ニシテ色淺シ四月頃專ラ食フ又冬
葱ハ「大不ギ」ト云モノヨリハ葉細レ實ヨ結ハズ故
ニ苗ヲ分子テ之ヲ栽ニ何レモ煮食ス是二種ハ
葱類ノ中ニテハ臭氣稍薄シ



葫ハ葉平タク尖リ數葉互生ス夏月圓莖ヲ出シ
梢ニ葱ノ花ニ似タル白花簇生ス根塊圓ク長
シ皮ノ色赤シ葉及ヒ根塊共ニ煮食スト虽モ
臭氣是類中ノ極タル故多分食セズ

山蒜ハ原野等ニ自生ス葉ハ葱ニ似テ細シ微棱
アリ根塊又小ナリ花ハ龍ノ如クニシテ色淺
シ葉ハ人食ストイヘドモ臭氣多キ故ニ食スル
コト甚ダ多カラズ

薑

薑ハ又ハジカニト云フ四月頃舊根ヲ栽ニ初出
八薑ノ等ノ如シ長ズルニ及テ薑荷ノ葉ノ如ク互
生ス七月頃新根ヲ生ス根ニ連リ別名ノ如クシテ

白シ莖ノ木根ニ接スル處赤レ根ヲ生食ス味辛シ

薑荷ハ畧々薑ニ似タリ
其根ヲ食ハス薪等ヲ

白キ花ヲ開ク

薑花

其葉ヲ加味ニ

食ス花ハ莖ヲ生シテ

薑味ニ

芥ヲ製ス味ヒ辛ク

シテ臭氣異ラ裂

ク力如シ食物ノ加味ニ

用ヒ又ハ塩漬テ食ス至

テ辛シ又一種大蓼ト云ア

リ葉廣シ食用トナラス

アリ敷種ニシテ冬ス能ハス何レモ始メハ青ク熟スルニ及

テ赤シ是

ヲ食スルニ辛キト比類ナシ時テ經テ去ラス就中腐焉ト云ハ

至テ小ナレ共辛キト他種ニ過ギタリ又一味辛ミナキアリ只香

氣ヲ賞シテ煮食ス京根ノ間ニ多シ

黑菜



山前菜ハ山中溪澗ノ砂中ニ作ル其葉ハ葵ノ如

シ其根塊ヲ食フニ芥ニ似テ又

辛味アリテ香氣ヲ含ム又一種葉莖ノミヲ醋ニ漬

テ食スルアリノ葉山葵ト云フ

海藻及

海藻ハ海ニ生スル葦ノ類ニシテ敷種アリ芝柄ナ

ルハ樹下岩間ニ生スル葦ノ類ニシテ類品又多シ

何レモ生食煮食ノ區別ヲ左ニシメス

黑菜

黑菜ハ海中岩礁等ニ附着ス昆布ノ如クニシテ

被ナキモアリ乾キタルヲ細ク刻ミ煮テ食フ

常トス遠列相良ニ産スルモノヲ佳品トス

芝柄類

山前菜ハ山中溪澗ノ砂中ニ作ル其葉ハ葵ノ如

シ其根塊ヲ食フニ芥ニ似テ又

辛味アリテ香氣ヲ含ム又一種葉莖ノミヲ醋ニ漬

テ食スルアリノ葉山葵ト云フ

山前菜ハ山中溪澗ノ砂中ニ作ル其葉ハ葵ノ如

シ其根塊ヲ食フニ芥ニ似テ又

辛味アリテ香氣ヲ含ム又一種葉莖ノミヲ醋ニ漬

テ食スルアリノ葉山葵ト云フ

芥ヲ

番椒

芥ハ葉ノ形手河柳ノ如ク

シテ薄シ花白ク落花シテ實

リ又圓扁ナルアリ至テ小ナル

芥ハ葉ノ形手河柳ノ如ク

似テ錦茜細カク皺

多シ花實ハ油菜ヨリ

似タウヤナギタニ

小ナリ是ノ實ヨリ磨レ

ギタニト云フ

芥ハ葉ノ形手河柳ノ如ク

似テ錦茜細カク皺

多シ花實ハ油菜ヨリ

似タウヤナギタニ

小ナリ是ノ實ヨリ磨レ

ギタニト云フ

芥花

芥ハ葉ノ形手河柳ノ如ク

似テ錦茜細カク皺

多シ花實ハ油菜ヨリ

似タウヤナギタニ

小ナリ是ノ實ヨリ磨レ

芥花

芥ハ葉ノ形手河柳ノ如ク

似テ錦茜細カク皺

多シ花實ハ油菜ヨリ

似タウヤナギタニ

小ナリ是ノ實ヨリ磨レ

芥花

芥ハ葉ノ形手河柳ノ如ク

似テ錦茜細カク皺

多シ花實ハ油菜ヨリ

似タウヤナギタニ

小ナリ是ノ實ヨリ磨レ



昆布ハ又ヒロメト云北地ノ産ニシテ松前
ニシテ兩邊青黑色ナリ

出ル佳品トス其巾一尺許長サ數丈及
フ海藻中ノ最クリ用ヒ方甚廣シ色淡黄
ニシテ如

シ是ヲ取ル甚危險トス食スルニ
種々ノ調理アレ共コレヲ縣スレハ
生食煮食トモニ其味ヒ甘クシ
テ塩氣ヲ含ミ且滑ラカナリ



裙帶菜ハ海中ニ岩礁ニ附着ス
ルモノニテ黒菜也

浪ノトキ岩ヲ離レ海濱ニ折上ル
モノナリ巾一二寸程ニテ色青ク薄
シ面ニ皺ナク乾クサハ白粉ヲ抹ス
而テ是ヲ生食煮食トモニナス



海藻ハ海中ニ生ス形チ極メ
テ纏細ニシテ頭髮ノ如シ枝又

アリ青黑色ニシテ滑カトリ春夏ノ間
生ス醋漬等ニシテ食フ又頭髮菜ト云
フ一種アリ海蘊ニ類シテ稍太シ又取ア
リテ色淡綠ナリ是モ又生食スヘシ



海藻ハ古ソト云フ
名ナリ

尺莖細ク枝多ク細少ノ
莖互生ス圓キ實ヲムス
フ壓スレハ破レ響クナ
ス色青黒ナリ煮食ス



羊栖菜ハ色黒ク莖ヨリ數枝
ヲ生シ又取ラヌ斯其莖長キ
モノヲ虎栖菜ト云フ共ニ煮
テ食入味ヒ黒菜ニ類ス

紫菜ハ冬月海濱中ノ岩石ニ付着ス而シテ浮
ム故ニ淺瀨ノ中ニ作枝木枝ヲ樹テ是ヲ取ル水
中ニアル片ハ淡紫綠色ナリ軋クハ紫色ニシテ
ズ食スルニ少シク炎ル片ハ香氣甚美ナリ武列大



角菜三種
紫菜
乾苔

又一種乾苔ト称スルアリ綠色ニシテ
毛ノ如シ海ニ近キ河口ニテ取ルコレヲ
焙ルトキハ其香氣味ヒ共ニ美ナリ



鹿角菜ハ數種アリ圓スルハ三種ヲ以テス海濱石上ニ叢生ス長
サ二三寸ニシテ枝アリ鹿角ノ如シ形ナ圓クシテ中腹シ大キサ
三分ニシテ上下狹シ色紫黃ナリ今糊トナシテ用フルハ濱ノ
沙上ニ置キ水ヲ浸シテ晒シ乾カス代ハ黃白色トナルヲ薄ク漉キ

森ノ產ヲ良品トス俗ニ淺草海苔ト云
又一種乾苔ト称スルアリ綠色ニシテ
毛ノ如シ海ニ近キ河口ニテ取ルコレヲ
焙ルトキハ其香氣味ヒ共ニ美ナリ



鹿角菜ハ數種アリ圓スルハ三種ヲ以テス海濱石上ニ叢生ス長
サ二三寸ニシテ枝アリ鹿角ノ如シ形ナ圓クシテ中腹シ大キサ
三分ニシテ上下狹シ色紫黃ナリ今糊トナシテ用フルハ濱ノ
沙上ニ置キ水ヲ浸シテ晒シ乾カス代ハ黃白色トナルヲ薄ク漉キ

タルモノナリ又食スルニ生海苔
ヲ以テス又一種ソノマタト呼フ

モノニ糊ニ而モ已用フハ形チ琴ノ
柱如シ故ニ琴柱トモ云フ



石花菜ハ種類多シ只三種ヲ園シテ
已ム海中ニ

生ス長母三四寸形チ石菜ノ如ク枝
多クシテ甚細カナリ色四五種ニ分ル
是ヲ海濱ニ産スハ皆黃白色トナ



石花菜書ス海中ニ

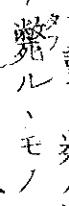
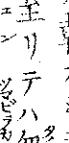
冠ニ似タリ色四五種モアリ長サ一二寸許ニ及フ生食シ



雞脚菜書ス海中ニ

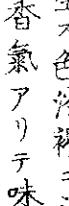
寸許ニ及フ生食シテ味ヒヨシ

色紫黒色ニシテ形乎圓ク生マナルヲ燒キ或ハ煮テ食スルニ甚タ美味ナリ通常ハ乾カニテ貯ヘキ葉ノ類ハ渾テ毒多キモノナリ其毒ノ根タルニ至リテハ忽チ弊ル、モノアリ故ニ名目ノ正シカラザル生スル所以ノ審ナラサル蕈ハ食スベカラズ



雞脚菜書ス海中ニ

麥蕈ハ砂地ノ松下ニ生ス形チ圓クシテ馬勃ノ如シ春ノ末ニ生ス色淡褐ニシヒ又淡薄ナリ麥蕈トモ書ス

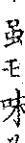


雞脚菜書ス海中ニ

松蕈ハ九月頃松林ニ生ス褐色淡褐ニシテ裏面數百ニ切レコト色白シ土中ヲ出ルキハ金コ開カス長スルニ至テ傘ヲ開ク是ヲ茹リ又煮テ食ス香氣甚タ強クシテ味ヒ美ナリ一種ト云アリ五六月頃生ス食シテ味ヒ少シ劣リ香氣モ亦薄シ

雞脚菜書ス海中ニ

生ス色淡黒ニシテ茎特ニ大ナリ食スルニ味草中ノ最美女ナリ



雞脚菜書ス海中ニ

生ス色淡黒ニシテ茎特ニ大ナリ食スルニ味草中ノ最美女ナリ

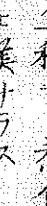


雞脚菜書ス海中ニ

生ス色淡黒ニシテ茎特ニ大ナリ食スルニ味草中ノ最美女ナリ



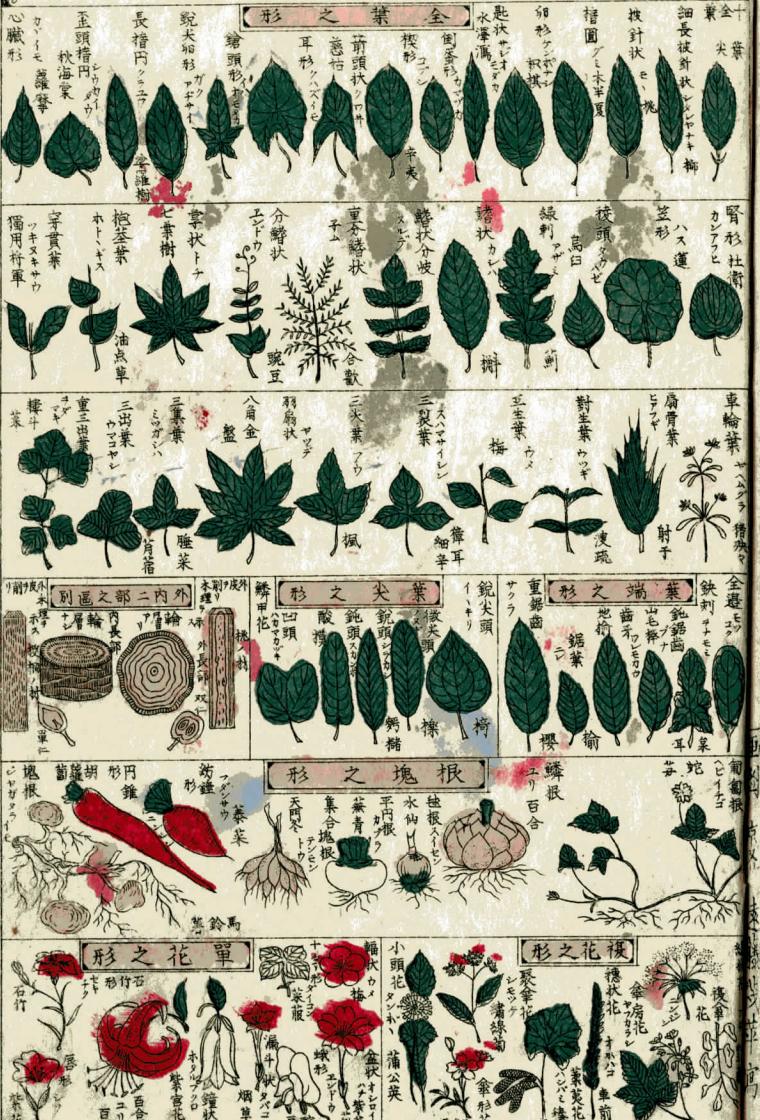
雞脚菜書ス海中ニ



雞脚菜書ス海中ニ

博物圖

第壹



木耳ハ柔楮等ノ木皮ノ上ニ生ス
四季共ニアリ晴日ニハ乾キテ木身
ニ固着ス雨ニ逢テ大ニ膨脹ス此ヲ
採リテ乾固シ食用トナス

木耳ハ柔楮等ノ木皮ノ上ニ生ス
四季共ニアリ晴日ニハ乾キテ木身
ニ固着ス雨ニ逢テ大ニ膨脹ス此ヲ
採リテ乾固シ食用トナス

摺草ニアリ煮テ食ス味淡ク上品ニテ
滑力ナリ

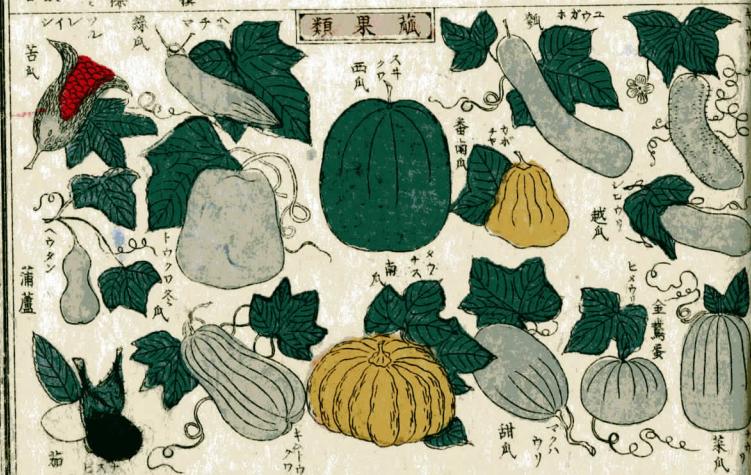
摺草八十一月頃ヨリ氣甚ダ高シ
都テ王毒草ニ似テ香

茅草八九月頃深林ニ生ス其色淡黒ニ
似タリ裏面ニ芒アリ此草ハ生ニテ食
ヒス一旦乾固シタル後ニ煮食フ微シ苦
味コ合ミ香氣味ヒ美ナリ

石耳ハ大石ノ面ニ生ス表面黒ク裏ハ
青色ナリ莖無シ四季共

青頭菌八五六月頃林間ニ生スルニ
ノナリ其色青ト摺

圖 物 博 第二



圖物博

第三



書評圖

卷二



圖物博



萬世家圖

